

3歳頃からの

しつけ 関わり方

発達段階

- ・自分なりに考えて主体的に行動ができるようになってきます。
- ・社会のルールも理解し始め、他人ともだんだん上手に接することができてきます。
- ・感情的にも落ち着いてくる時期で、機嫌よく遊べる時間も増えてきます。
- ・色や、前後上下の方向、疲れた・寒いなどの状態も理解できるようになってきます。
- ・服を着る、ボタンを留めるなどさらに手先も器用になってくる時期です。

しつけ

- ・「自分はこうしたい」という意思があるので、「どうしたらいいと思う?」「どうしたい?」「どう思う?」など考えさせてみましょう。いけないことをしてしまっても、いけなかったことと、次はどうしたらよいかまで前向きに伝えてあげましょう。
- ・親が先にお手本を示して真似させたり、一緒にしたりすることで、基本的な生活習慣や人とのやりとりを身につけていきましょう。
- ・本当に危ない時や、してはいけないことをした時は、きっぱりとしかりましょう。



3歳以降

特徴

感情的に落ち着いてくる
社会のルールを理解し、周りとも上手くやれるようになる
気持ちややりたいことを言葉で伝えられる→イヤが減る
「あとでね」「待っててね」がわかる→時間の流れがわかる



関わり方のポイント

- ・していいこと、いけないことをきちんと言葉で伝える。
- ・「ダメ」よりも「～してね」「～できるよね」等、前向きな言葉で伝える。
- ・危険なことや社会的なルールについては毅然とした態度で繰り返し伝える。
- ・その場しのぎの守れない約束はしない。覚えているので信頼がなくなります。
- ・子どもの「なぜ?」「不思議だな」に共感する。無理に答えなくてOK。

★悩んだ時こそ誰かに相談を！～お話を聞き、一緒に考えます～
連絡先：東松島市役所 健康推進課 子ども健康係
82-1111(矢本保健相談センター内)